資料２－１

サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク 2019 年度活動計画

１．2019 年度活動計画の基本方針

2019 年度（2019 年 4 月～2020 年 3 月）は、勉強会の開催や NSC ニュースの発行、大学生・大学院生と企業との環境報告書ステークホルダーダイアログの開催といった従来から取り組んでいる活動を着実に継続します。

さらに、環境・CSR コミュニケーションに関する最新情報の紹介や、タイムリーなテーマを設定し、研究会を開催します。

２．2019 年度活動計画

（１）勉強会の開催

今年度は「不確実性の時代における長期生き残り戦略とは」を通年テーマとして、日本企業の長期ビジョン策定状況や経済界の長期温暖化対策の取組みなどについて、最新情報やグッドプラクティスなどを紹介する勉強会を、年度内に数回開催します。

（２）幹事会プロデュース企画

幹事会のプロデュース企画として、タイムリーな話題を取り上げてシンポジウム/セミナー等を他団体との協力しながら開催します。

（３）大学生・大学院生と企業との環境報告書ステークホルダーダイアログの実施

昨年度に引き続き、大学生・大学院生と企業との環境報告書ステークホルダーダイアログを実施します。ステークホルダーダイアログの円滑な実施のため、NSC の学識者区分の会員となっている大学・大学院の教職員及び会員企業に対し、開催への協力を要請します。

（４）ニュースレターの発行

従来と同様、（一財）地球・人間環境フォーラム発行の環境情報誌『グローバルネット』誌上に隔月（奇数月）、合計 6 回にわたって NSC ニュースを掲載し、会員へ送付します（情報誌は掲載月だけでなく毎月送付）。

（５）幹事会の定例開催

幹事会を 3 ヵ月に一度のペースで定例開催し、NSC の運営体制の強化を図ります。また必要に応じて臨時の幹事会も開催し意思決定体制を強化します。

（６）その他

NSC の活動と関わりの深い諸団体等との連携を深めます。諸団体の実施するイベント等に後援等のかたちで開催協力するとともに、それらのイベント等に NSC 会員が優先的に参加できるよう交渉等を行います。一方、NSC が実施する行事等に対しても諸団体からの開催協力を得られるように致します。

また、昨年実施した、エコプロダクツ同時開催の環境経営学会との共催シンポジウムも検討します。

そして引き続き、環境監査研究会、環境経営学会、サステナビリティ日本フォーラムに企画協力及び広報を依頼します。